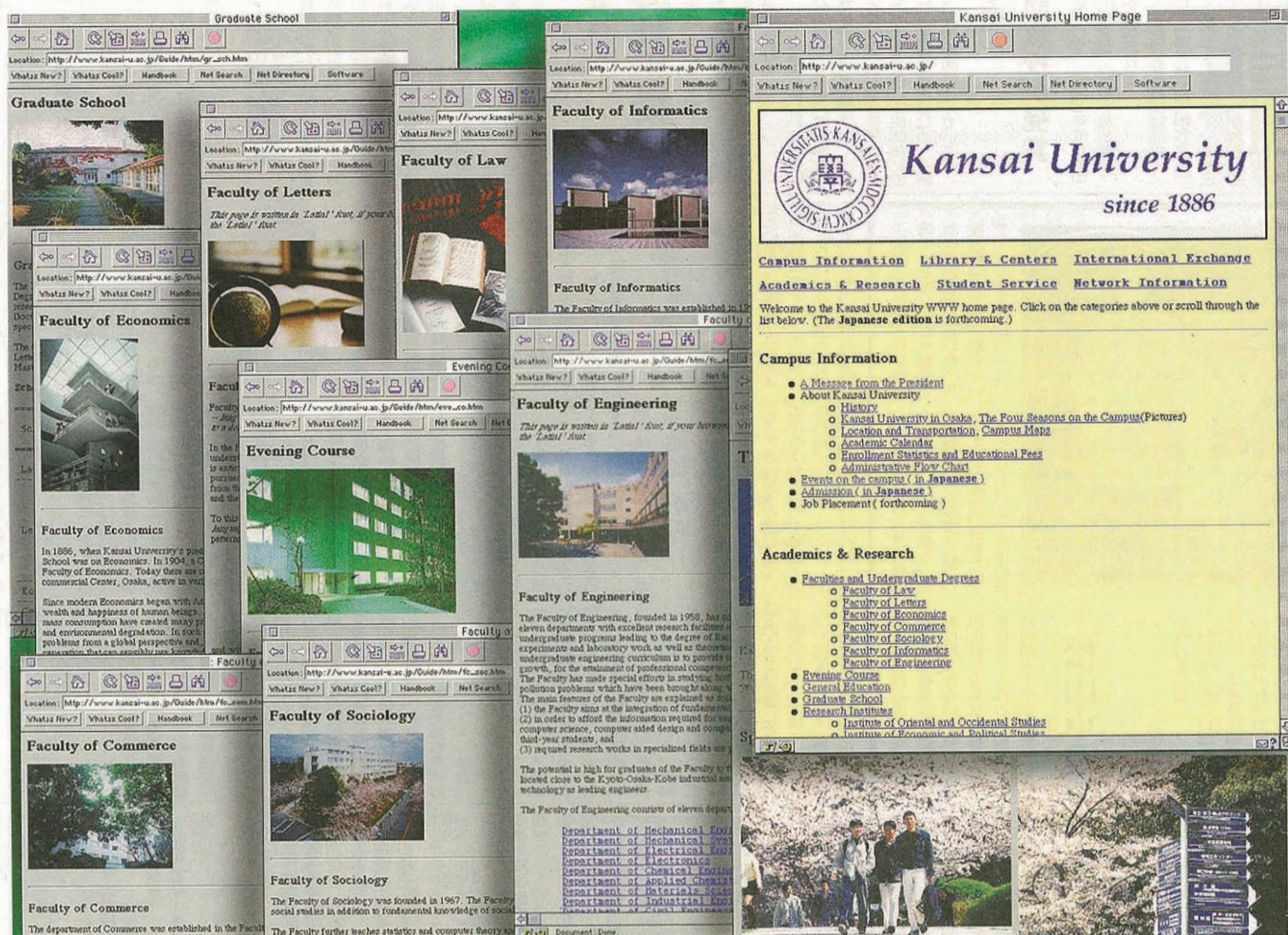


関西大学インターネット・ホームページ（右）と各学部の紹介ページ（左）



「不易」と「流行」、これら二つの言葉は、大学教育のあり方を論ずる時に今なお有効である。まず不易（変わらないもの）の面からみると、大学教育は講義・演習・実習・卒業論文などで構成される。講義は一人の教員が百人以上の学生に、基本概念や方法論を一齊授業の形態で概説する。これだけが大学の授業だと普通は思われがちだが、演習になると様相は一変する。学生数も二十人前後で、学生が講読、発表、質疑応答や討論をする。教員は文献や資料等の選定と、助言や質問をする。実習はまた別であり多様化する。機器の操作、制作、実験などを学生各自が遂行する。教員は示範したり、基本手順は教えるが、後は学生がマイペースで実行する。外国语の学習も基本的にはここに位置する。そして卒論になると、研究計画、調査や実験、分析とまとめ等を全て学生自身でやる。教員は、担当する学生が各自で仕上げていく過程で、指導し助言するが、結局は学生が自分の能力と責任で書き上げていくしかない。以上は私が所属する総合情報学部と、前任校の人間科学部という「文理総合型」の学部をモデルにしたもので、各大学や学部で名称や内容に微差はあるが、本質は同じである。こうした異質な組み合わせの妙が、大学教育の実は本質なのである。

次に時代と共に変わるべき流行とは何なのか。新しい電子技術の普及で、大学の学習環境や機構を根本的に変革していく必要が出てきた。例えばFAX、携帯電話、ビデオ、ビデオゲーム、パソコンで、諸君の出生時に既に普及していたものが幾つあるだろう。これらのメディアに共通する特徴は、相互作用性、双方性、分散性、そして個別性であろう。中でもマルチメディアとインターネットの普及には、小学校から大学まで、学校が傍観者ではおれない危機感をもっている。一つのパソコン画面上に、動画、静止画、音響、文字などが取り込める。今までそれらは別々のメディアとして扱われていたのだが、デジタル変換で、一つ画面に取り込める。しかも利用者が自分で選択でき、更に加工や編集也可能である。こんな教材は今まで存在しなかった。個々の学生が別々のメディアを選び、それと相互作用して学ぶことは、近代教育の遺産である一斉授業システムを根底からくつがえす。

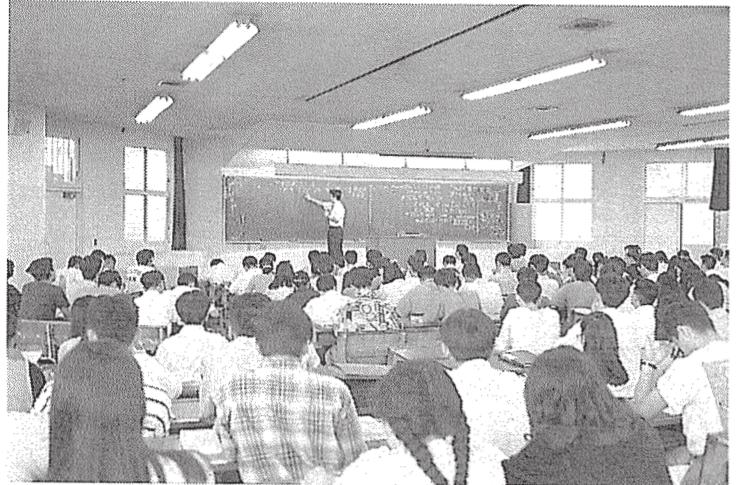
もう一つはインターネットで、地域や国を越えて自由につながり、情報の発信と受信ができることがある。こうなると遠隔共同学習ができるし、学生が国内外の専門家とリアルタイムで情報のキャッチボールができる。これまた革命的なできごとである。大学が宿命的にもつ閉鎖性は、一人の学生のパワーコンがインターネットに接続されただけで、突き破られるのである。

これらのニューメディアや新技術を積極的に取り入れつつ、新しい可能性を切り開いていきたい。総合情報学部教授

大学教育における不易と流行

水越 敏行

トという新しいタイプの情報通信技術について様々な利用法が次々と考案され、バーチャル（仮想）ビジネスやバーチャルコ-ボレーションも夢でなくなつた。アメリカは、この新しい情報通信技術の価値をいち早く認め、国によるそのためのインフラ、光ファイバー通信網などの通信インフラの整備、通信料金の一層の引き下げなどを実行していくためには、光ファイバー通信網の整備が行われ、通信人口も急激に増大し、すでに本格的な利用に突入している。わが国が、アメリカのように本格的に利用していくためには、光ファイバー通信網などの通信インフラの整備、通信料金の一層の引き下げなどを待たなければならないが、その利用は着実に広がっている。なかでも大学と深く関わっている利用法の一つとして、企業のインターネットによる求人が挙げられる。今年の就職戦線で、企業求人におけるインターネットの活用が本格化している。企業のインターネットによる採用情報の提供だけではなく、仮想面接体験できる企業まで登場している。こうした企業側の動きに対し、関大も現在鋭意その環境を整備している。学生諸君もできるだけ早くアクセスや利用法を身につけて欲しいものである。（Y.O.）



學生生活態調查

平成度

平成七年度学生生活実態調査の結果がまとまつた。今回の調査は、昭和三十年以来継続して実施している本学独自の調査である。これは、同種の質問項目について経年的データを蓄積することに主眼をおき、学生生活の実態を見定めようとするものである。

調査の方法および対象者については、平成七年九月一日現在の在学生から、第1部・第2部ごとに学部・年次で「層別比例抽出法」により、第1部は十分の一、第2部は五分の一の割合で抽出した。調査票は郵送し、回収は郵送もしくは各学部事務室・学生課の回収箱に投函するという方法で行った。調査期間は平成七年九月二十一日から平成七年十月五日までとし、有効回収率は第1部が五四・七%、第2部が六四・五%であった。

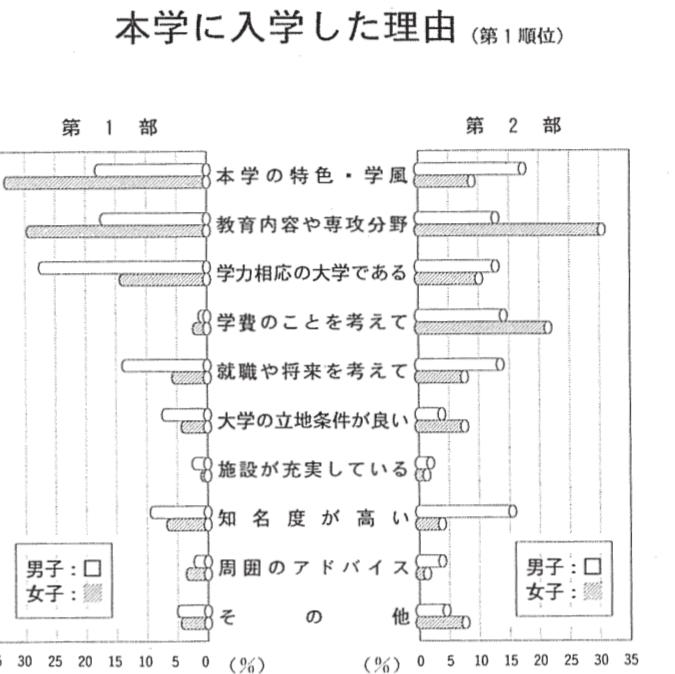
紙面の都合で、こことり上げた内容は調査結果の一部であり、調査全体については「平成七年度学生生活実態調査報告書」を参照していただきたい。

満足度トップは図書館 第2部、千里山移転で上昇

大学・授業

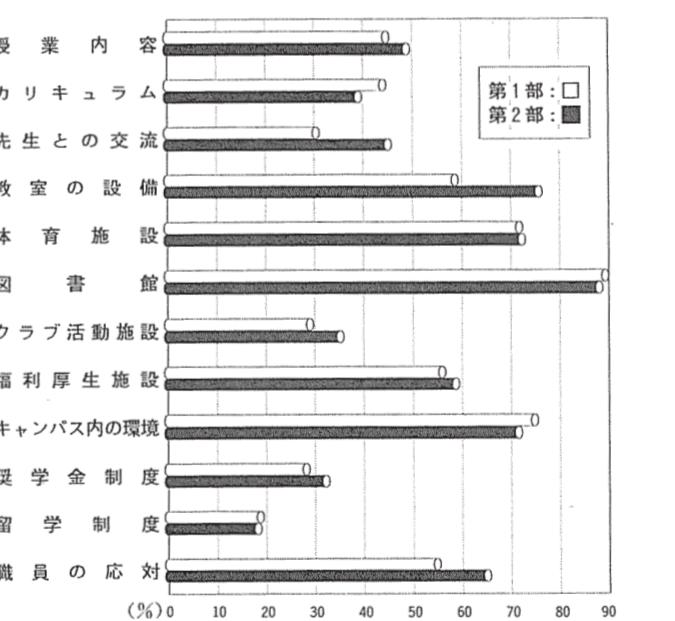
トツフは図書館
満足度
第2部、千里山移転で上昇

いる。
男女別ではどうか。第1部では、男子は「力学相応」がトップになっているのにに対し、女子は「本学の特色・学風」がきている。第2部では、女子において「教育内容や専攻分野」が三〇・四%と独立して、「就職や将来」について、「知名度」については、第1部・第2部ともに男子のはうが高い。女子のほうが本来の勉学を重視した大学選択を行っているということである。
○大学に対する満足度
学生生活実態調査は、その名が示すとおり学生生活の実態について調査を重ねてきたものである。
が、前回調査(平成4年度)から、魅力ある関西大学をめざして改革の手がかりとすべく、「大学に対する満足度」という項目を設けている。
この設問は、授業内容、カリキュラム、先生との交流、教室の設備、体育施設、図書館、クラブ活動施設、福利厚生施設などになっている。
第2部でも、「図書館」が最も満足度が高く、以下「教室の設備」「体育施設」「キャンパス内の環境」「職員の応対」と続く。
合、第2部の千里山移転によって一の大変な問題となつたが、周辺住民にこれにつきの苦衷を、前回調査では、その「やや不満」「不満」「判断できない」の5段階で回答するものである。
「満足」「ほぼ満足」の2段階で回答するものである。

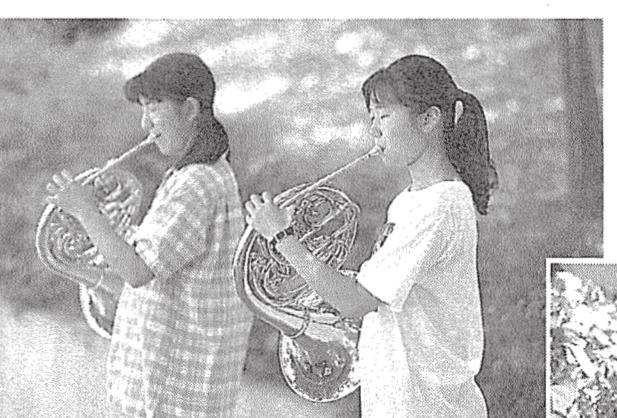
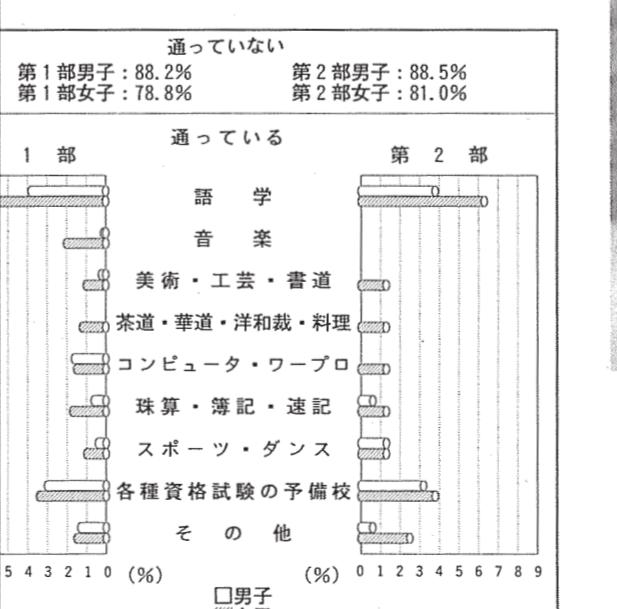


大学に対する満足度

満足度 (満足 ± ほぼ満足)



ブルスクール



○平均収入・支出

本調査では、学生の経済生
活の実態を把握し、福利厚生
等に関する基礎資料とするた
め、住居、アルバイト、収支
状況などのデータを累積して
きている。今回の調査結果で
印象的なことは、「一か月の
経済生活

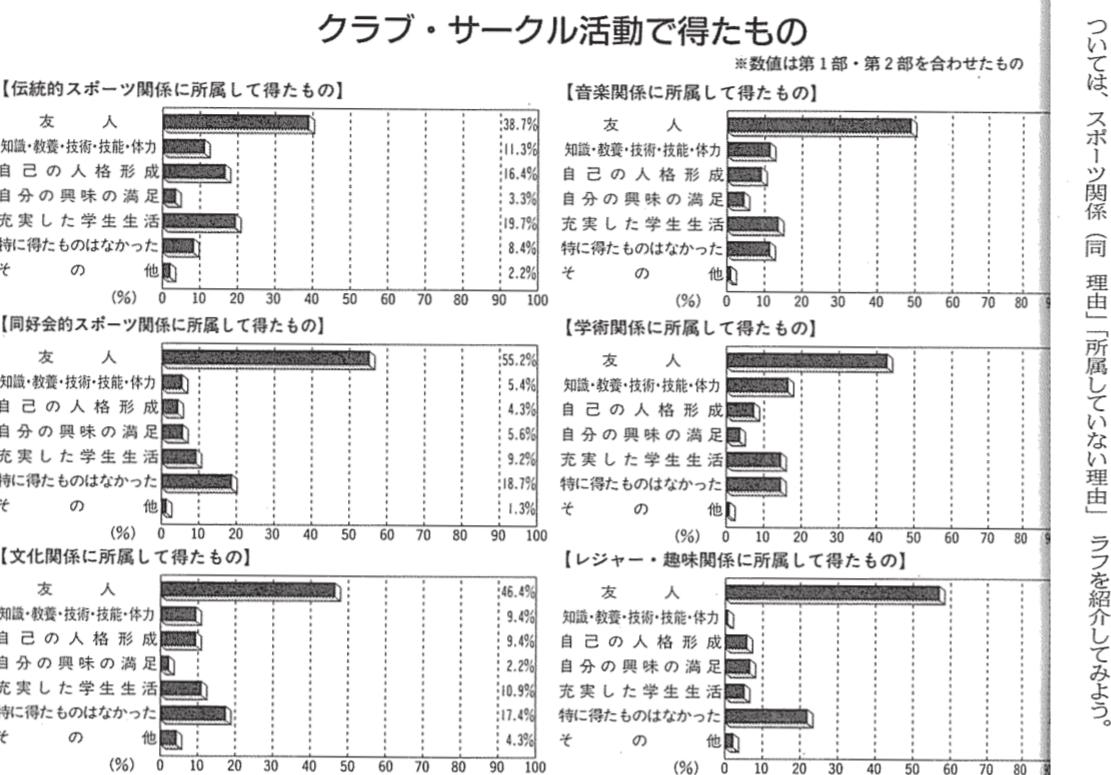
れも前回調査より減少。これ
に対し、自宅外生については
第1部九五、〇九〇円、第2
部八一、一七〇円と、前回
査よりも増加している。下宿
やマンションの家賃高騰が、
高額な仕送りを強いているの
であろうか。

変化が生じているのであろう
か。

また、平均支出については
第1部九五、〇九〇円、第2
部八一、一七〇円と、前回
査よりも増加している。下宿
費等、勉学・図書費、娛樂、
レジャー費、貯金・ローン返
済金など、軒並み減少傾向が認
められる。しかしながら、前
述した住居費と通学費につい
ては支出が増加している。

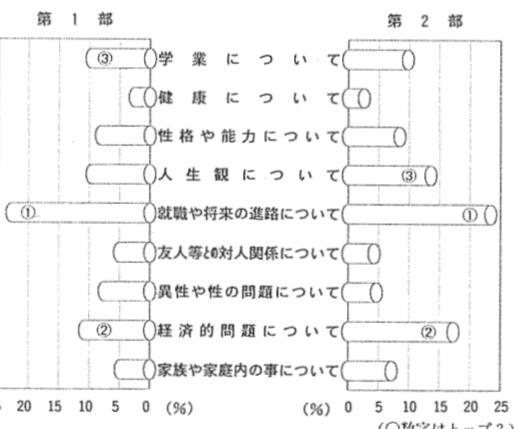
くに第2部では、自宅生・自
宅外生ともに前回よりも二万
円以上も低い金額となった。
不況によつて高賃金のアル
バイトが減少しているのか、
学生のアバイト優劣影響こ
そ、平均収入をみると、
自宅生の「家庭から」の援助
は、第1部二、九七〇円、
第2部二〇、八六〇円といま
ず、平均収入をみると、
アルバイト収入についても
前回調査を下回つており、と
ても、この点は、自宅生・自
宅外生ともに前回よりも二万
円以上も低い金額となつた。
震災の影響など、社会情勢が
調査結果に現れてはいるのかも
れない。

卷之三



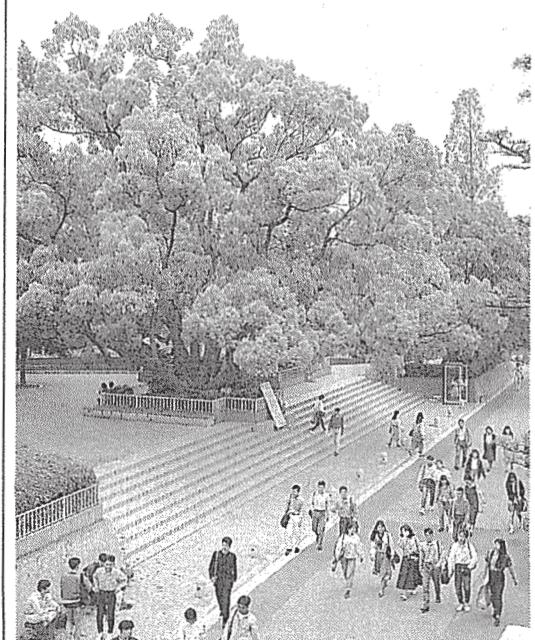
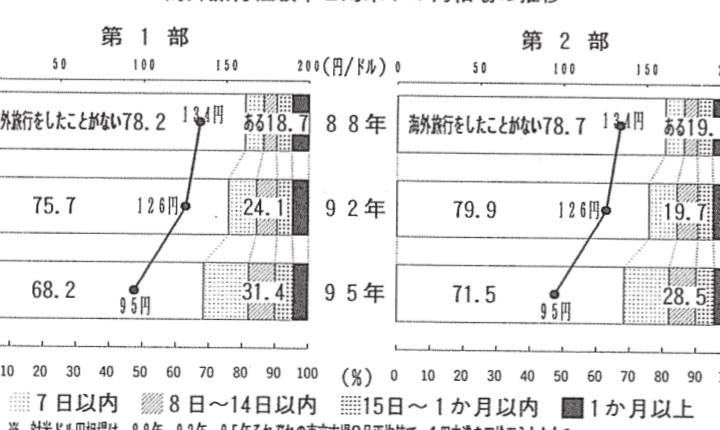
不安や悩みの程度

各項目別にみた「深刻に悩んでいる」人の割合



海外旅行の経験・期間

海外旅行経験率と対米ドル円相場の推移



▼「ジャーナリズムの現在－新聞・テレビを中心にして」									
	日	程	日	程	日	程	日	程	日
七月 （金） 五日	新世紀の日本社会と法 法律・政治	（木） 四日	事件と報道 阪神と震災	（木） 二十七日	TBS事件をどう見るか ニュースは現実をどう伝えるか	（木） 六日	マスクコミと人権 差別語と差別表現を考える	（木） 六月 （木） 十三日	（木） 六月 （木） 六日
六月 （金） 二十八日	国際連合と日本の役割 国際連合と日本の役割	（木） 七日	作家のジヤーナリズムのみた 事件と震災	（木） 二十一日	事件と報道 阪神と震災	（木） 六月 （木） 二十一日	事件と報道 阪神と震災	（木） 六月 （木） 二十一日	（木） 六月 （木） 六日
六月 （金） 二十九日	先端技術をめぐる罪と罰 先端技術と犯罪	（金） 十四日	企業社会と民法 PFL法・環境法	（金） 二十一日	手形・小切手法の課題 「ボスト工業化社会」の 労働と法	（金） 二十一日	電子・マネーは小切手法に 代わりうるのか	（金） 二十一日	（金） 二十一日
六月 （金） 三十日	竹本 正幸 法学生教授	葛原 力三 法学部助教授	福瀧 博之 法学部教授	大学沼 邦博 法学部教授	植木 哲 法学部教授	講師	講師	講師	講師

100

第22回 飛鳥史学 文学講座		鳥文化研究所と明日香村中央公 民館との共催により開講されて いる。	
月	日	程	テーマ
三月 （日）九日	二月 （日）九日	神饌にみる古代の食文化 —モチチシトギイ	「断罪の制度 —明治初期の法の実践—」
三月 （日）九日	二月 （日）九日	奈良博覽会と正倉院宝物 —古代の女帝・慈惠論 —王權をめぐらして—	「高野山の別所・天野の里に —逝つた人々の文学世界—」
三月 （日）九日	二月 （日）九日	大学部教授 上井部教授 久義	文学部教 高橋 隆博 奥村 郁三
三月 （日）九日	二月 （日）九日	大学部教 名譽教授 有坂 隆道	文学部教 青木 晃
三月 （日）九日	二月 （日）九日	大学部教 法學部教 授三	文学部教 蔭田 香融
三月 （日）九日	二月 （日）九日	大学部教 授五	文学部教 片桐 洋一
三月 （日）九日	二月 （日）九日	大学部教 授六	文学部教 横田 健一
三月 （日）九日	二月 （日）九日	大学部教 授七	文学部教 神堀 忍
三月 （日）九日	二月 （日）九日	大学部教 授八	文学部教 網干 善教

守口市民大学講座		催の「守口市民大学講座」が、 一般成人を対象に開講される。	
公人守口市文化振興事業団共 センタ一（ムーブ21）。		会場は、守口市生涯学習情報	
▼「太閤一代記」			
日 程	テ マ	講 師	
五月二十五日 (土)	秀吉の地理的大改造	文学部 教授 高橋誠一	
六月 一日 (土)	豊臣秀吉と本願寺	文学部 教授 高橋香融	
六月 八日 (土)	洛中の風景	文学部 教授 藤田 隆博	
六月 十五日 (土)	豊臣秀吉の唐冠の肖像 から	文学部 教授 大庭脩	
六月二十二日 (土)	伏見城見学会(西本願寺・ 醍醐三宝院)	文学部 助教授 藤善 真澄	
六月二十九日 (土)	「太閤説話の展開 を中心に」「絵 本 太閤記」を題記」と 「ねね」か「おね」か 「秀吉と北政所」か	文学部 教授 山本 貴	
七月 六日 (土)	永井 規男	文学部 教授 薮田 貴	
七月 (十三日) 東山と秀吉夫妻			

春の人权啓発行事

公開講座		は市民の法生活の の発展に寄与する 各種の事業活動を 次の公開講座を開 時四十分	
講演テーマ：被災部落の実践と訴え —阪神大震災から一年— 講 師：芦原地区住宅要求者組合 代表 西中 正幸 世話人 竹内やゑ子 世話人 高橋 兼二		講師・毛利 敏彦（広島市立大 学国際学部教授、大阪市 立大学名誉教授）	
時 間：18時～19時30分 場 所：第2学舎3号館D104教室		会場：第1学舎 2号館 B102教室	
講演テーマ：セクシュアリティを 語ることの意味 —異性愛社会を相対化するために— 講 師：京都産業大学教員 鬼塚 哲郎		なお、第十六回の公開講座は 企業法務に関するテーマをとり あげ、十一月に開講の予定です。	
講演テーマ：人権と心の問題 —人権教育の国連10年にちなんで— 講 師：関西大学名譽教授 鈴木 桂藏		本学の日頃のこうした努力に ついては、回	
講演テーマ：転機を迎えた 在日韓国・朝鮮人問題 —日本のなかの「民族問題」— 講 師：花園大学教授 姜 在 彦		8 7 6 5 回 日十一月二十九日 五月三十一日 (金) 五月二十二日 (金) 五月二十三日 (金) 五月二十四日 (金) 講演テーマ：障害者差別をなくすためには —権利と権利の衝突をどうする?— 講 師：人権問題研究室委嘱研究员 榎 美 弘	
時 間：13時～14時30分 場 所：第1学舎2号館B102教室		※時間は、午後 これらの講演や映画の内容 もかかわらず、学内になおみら れる悪質な落書きなど言語道断 が人権問題に関心を持ち、人権 意識を高める努力を絶えず継続 する以外に道はない。 参考書 待合室	
講演テーマ：情報と人権 —個人情報保護法と個人情報の 保護— 講 師：高橋 兼二		8 7 6 5 回 日十一月二十九日 五月三十一日 (金) 五月二十二日 (金) 五月二十三日 (金) 五月二十四日 (金) 講演テーマ：被災部落の実践と訴え —阪神大震災から一年— 講 師：芦原地区住宅要求者組合 代表 西中 正幸 世話人 竹内やゑ子 世話人 高橋 兼二	
時 間：18時～19時30分 場 所：第2学舎1号館A503教室		8 7 6 5 回 日十一月二十九日 五月三十一日 (金) 五月二十二日 (金) 五月二十三日 (金) 五月二十四日 (金) 講演テーマ：セクシュアリティを 語ることの意味 —異性愛社会を相対化するために— 講 師：京都産業大学教員 鬼塚 哲郎	
講演テーマ：人権と心の問題 —人権教育の国連10年にちなんで— 講 師：関西大学名譽教授 鈴木 桂藏		8 7 6 5 回 日十一月二十九日 五月三十一日 (金) 五月二十二日 (金) 五月二十三日 (金) 五月二十四日 (金) 講演テーマ：転機を迎えた 在日韓国・朝鮮人問題 —日本のなかの「民族問題」— 講 師：花園大学教授 姜 在 彦	
講演テーマ：障害者差別をなくすためには —権利と権利の衝突をどうする?— 講 師：人権問題研究室委嘱研究员 榎 美 弘		8 7 6 5 回 日十一月二十九日 五月三十一日 (金) 五月二十二日 (金) 五月二十三日 (金) 五月二十四日 (金) 講演テーマ：情報と人権 —個人情報保護法と個人情報の 保護— 講 師：高橋 兼二	

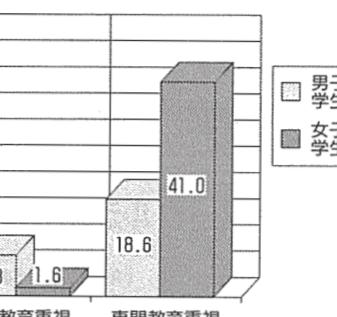
政治研究会講座		産業セミナー	
日程	講師	日程	セミナー題目
(水) 一日 パソコン業界の 経営戦略	黒島 裕之 経総合情報部 教員	(水) 八日 (水) 二日 経営戦略の現状と課題	講師 法政大学 亀田 健二
(水) 三日 価値観の転換と 社会・経済システム	橋本昭至 経済学部 助教授	(水) 一日 危機管理と リスクマネジメント	講師 社会学部 高橋 利明
(水) 九日 現代人の情報行動と コミュニケーション	吉岡 至 社会学部 助教授	(水) 十日 国際航空の規制緩和	講師 社会学部 耀鐘 望
(水) 一ヶ月 人権問題研究室では、研究成 果を発表します。	※時間は、午後一時～午後二時三十分	回数	地域社会に対する奉仕と啓蒙 のため、中小企業経営者及び一般社会人を対象とする関西大学 十六回
135 三月初旬	134 十一月下旬	133 九月中旬	132 六月六日(木)
情報と企業活動	株式会社と情報	台湾の証券市場	ニューメディア遊び ～電話する～
中国の証券市場	台湾の証券市場	独占禁止法と会社法	ニューメディア遊び ～カラオケ～
東アジアの放送 メディアの放送	東アジアの放送 メディアの放送	独占禁止法と会社法	ニューメディア遊び ～電話する～
の向	の向	の向	の向

号 関 西 大 學 通 信

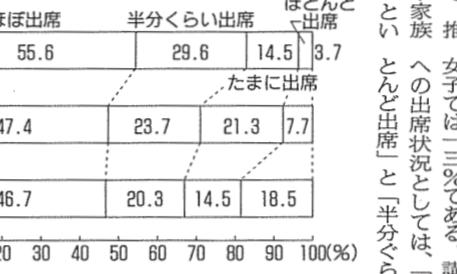
回答数(人)		回答数	回答の部構成のアンケート
の 1	そ の 2		一 この調査は九五年十一月、第一部・一年次生を対象に行われた。アンケートは、「その1」と「その2」の二部から構成されているが、これらの回答数は図表1に示すとおりである。
373	349		
61	63		
115	138		
549	550		

30日現在　示そ二は象一

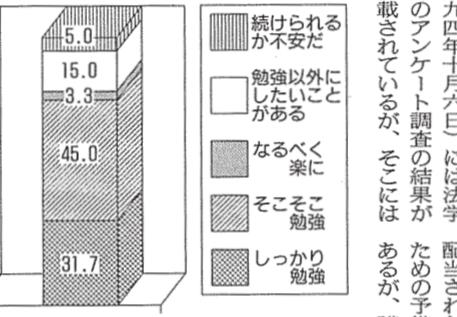
ムの配当変更への希望(男女別) わゆるがの入



やすさと講義への出席状況の関連

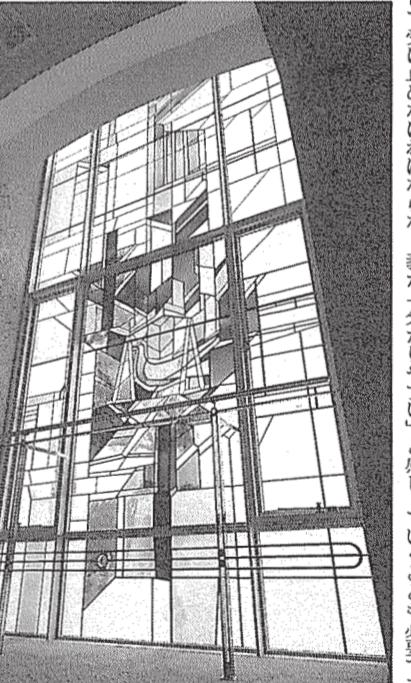


で勉強に取り組んでいるか?(男女別) 掲部



	A	B	C
うっている講義が多い	81.7	8.8	9.5
が少ない	75.6	9.9	14.5
習義務を課してほしい	8.0	73.6	18.4
てほしい	16.7	70.2	13.1
てほしい	3.8	80.6	15.6
うめをもらしてほしい	21.0	7.0	7.0

科目選択の際の基
全体として見た場合
負担 ミクロ経済学入門
政治経済



95年度入学生アンケート調査分析

出席」の比率を合計すると、法学部学生についての「学習上の負担感」のデータが見られる。もっと大きな差が生じるのは、「一年次の一般教育科目と専門教育科目の配当の割合は?」という質問に対する回答である。女子では専門教育を重視を希望する学生が、男子の一九%を二二%も上回り、学部の場合は入試別の調査も

よく理解できていない
か。これに對して
できる」と回答し
すかに〇・六%
う、驚愕すべき數
「だいたい理解で
きる」と含めさせて
理解できる学生
であるといふこと
によると、うしも

るであろう。「よく理解した割合はわざと三名」といわれた。この値であった。「じきる」(二)は、その原講義内容が約二〇%の状態であります。

ことになる。「たまに出席」
「一八%、「ほとんど欠席」は
二%である。これらの数値
を見た上で、教員の側にと
りの関心事は、講義への出席
況と講義の理解度との関連
ある。それを端的に表して
いるのが、図表3である。当
ことを考すれば、

られるが、この常点によつて、成績評価が明確となる。その準が不明である学生が二、三%である。成績評価が、成績評価の二、三%になる（三三%）学生と合計して、成績評価の三三%となる。これは、成績評価の三三%をもつて、成績評価の三三%となる。

以上の三つが八〇%を超える回答である。その他、七〇%を超える比率のものを拾い出すならば、「意欲を感じさせない」と解してよいか、判断が難しい。

